

火 お こ し

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

木と木の摩擦によって火をおこしていた人間の文明の原点に立ち返り、火を使うことの素晴らしさを体感します。（野外炊事、キャンプファイヤーにつなげることができます。）

2 時期・時間

4月～11月・10分～1時間

3 活動場所

キャンプ場、営火場、工作館

4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者が準備する物
火おこし器本体、のこぎり、小刀等	火おこし用板と火きり杵（売店で購入） かんなくず、麻ひも、軍手等

5 実施例

- ① 健康状態を確認し、服装を点検します。
- ② 用具を準備します。
- ③ 火きり板と火きり杵をつくります。
- ④ 麻ひもをほぐして。その上に火きり板をのせます。
- ⑤ 火きり杵をセットして、火きり板の穴に垂直にたてます。
- ⑥ 芯棒を回転させ、ロープを巻きつけます。
- ⑦ 火きり板を足でしっかり固定し、両手で横木を持って、ゆっくり下げて芯棒を回転させます。
- ⑧ ロープが伸びる少し手前で力を抜くと、反動で自然にロープが芯棒に巻きつき、横木が上がってきます。
- ⑨ この上下運動をゆっくりと繰り返し、少しずつ力を入れていきます。
- ⑩ 煙が出てきたら、さらに力を加えて回転し続けます。
- ⑪ 麻ひもの上にたまった黒い粉の中に火種ができれば回転を止め、麻ひもを取り上げて息を吹きかけながら火種を大きくしていきます。
- ⑫ 火がついたら、薪に火を移します。
- ⑬ 人数確認、健康調査をします。
- ⑭ 後片付け（用具は必ず元の場所に返してください。）
※必ず引率者が立ち会ってください。（破損等があれば事務室にご連絡ください。）

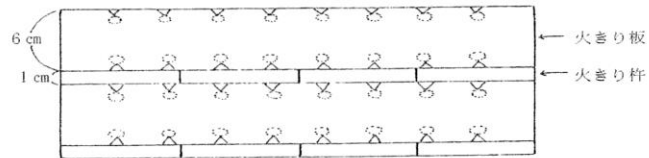


6 留意点

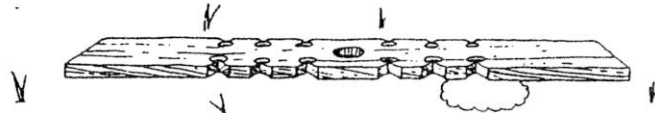
- ・活動に使った道具については、責任を持って返してください。
- ・火きり板と火きり杵は、事前に作ってきてもいいです。
- ・麻ひもに鉛筆の削りかすを混ぜておくと火がつきやすくなります。
- ・火きり板と火きり杵は十分乾燥させてください。
- ・火きり杵は、杉材より桐やバルサ、紫陽花等が適しています。

[参考資料]

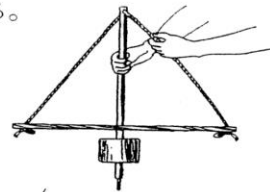
- (1) 火きり板、火きり杵を作る。



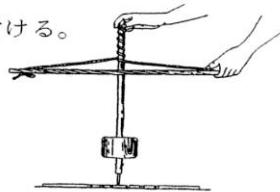
- (2) 麻ひもをほぐして、その上に火きり板をのせる。



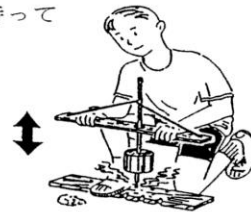
- (3) 火きり杵をセットし、火きり板の穴に垂直にたてる。



- (4) 芯棒を回転させ、ロープを巻き付ける。



- (5) 火きり板を足でしっかり固定し、両手で横木を持ってゆっくり下げて芯棒を回転させる。



- (6) ロープが伸びる少し手前で力を抜くと反動で自然にロープが芯棒に巻き付き、横木が上がってくる。
- (7) この上下運動をゆっくりと繰り返し、少しずつ力を入れていく。
- (8) 煙が出てきたら、さらに力を加えて回転し続ける。
- (9) 麻ひもの上にたまった黒い粉の中に火種ができたなら回転を止め、麻ひもを取り上げて息を吹き掛けながら、火種を大きくしていく。

